

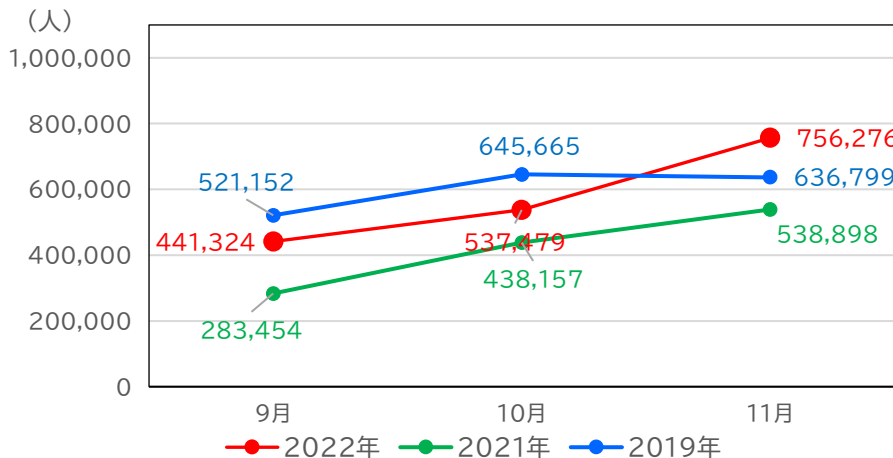
大分県観光予報観光動向レポート 10月号

対象都市	大分県	集計対象期間	2022年9月～2022年11月（3か月間）
比較対象都市	福岡県・長崎県・熊本県	比較対象年度	2021年（前年）、2019年（コロナ前）

大分県の宿泊動向

■宿泊者数の推移

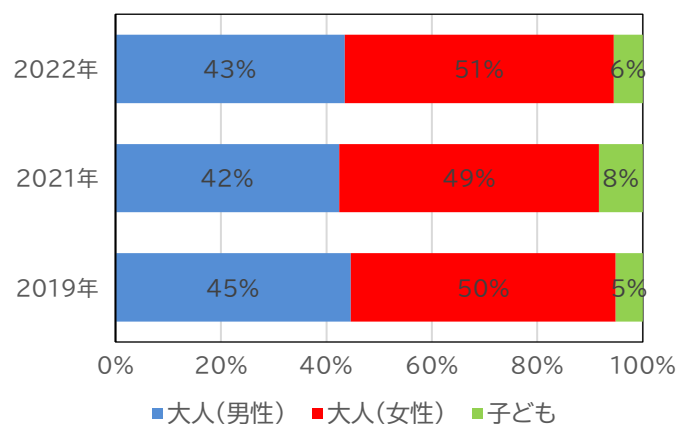
[2022年9月～11月の宿泊者数（大分県 実績・予測）]



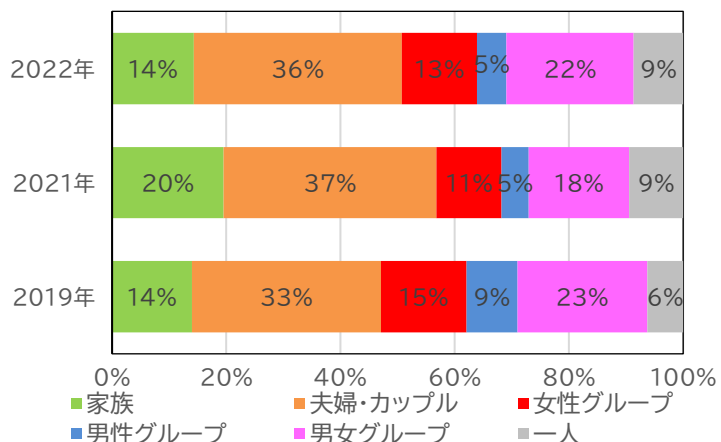
10月宿泊実績：537,479人
 (9月時点10月予測：417,676人)
 11月宿泊予測：756,276人
 (9月時点11月予測：232,691人)
 前年比（10月）
 23% 増
 2019年比（10月）※コロナ前
 -17% 減

■宿泊者属性の動向

[大人・小人の別（10月）]



[同伴形態の別（10月）]

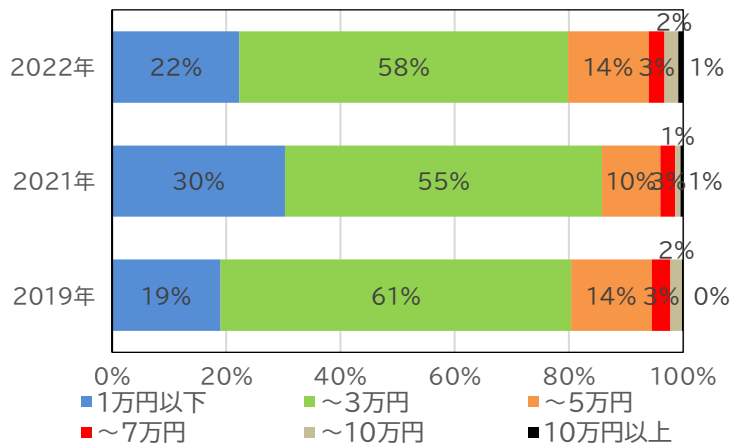


[当期宿泊者の居住地ランキング（10月）]

※海外はデータ数小により非表示

国内	順位	県名	人数	前年比(%)	順位	県名	人数	前年比(%)
	1位	福岡県	118,423	22%	6位	愛知県	25,739	5%
	2位	東京都	49,462	9%	7位	兵庫県	20,834	4%
	3位	大分県	43,991	8%	8位	埼玉県	17,954	3%
	4位	大阪府	32,279	6%	9位	山口県	17,640	3%
	5位	神奈川県	27,516	5%	10位	千葉県	17,597	3%

[一人あたり宿泊購入額（10月）]



[市町村別の宿泊者数ランキング（10月）]

市町村名	宿泊者数(人)	前年比(増加率)	2019年比(増加率)	市町村名	宿泊者数(人)	前年比(増加率)	2019年比(増加率)
1 別府市	234,600	5.3%	-29.6%	10 杵築市	990	32.9%	4.1%
2 由布市	211,192	60.6%	8.3%	11 国東市	552	-16.1%	-35.1%
3 大分市	41,401	4.9%	-28.1%	12 宇佐市	524	7.8%	-14.4%
4 日田市	15,846	21.2%	-15.8%	13 豊後大野市	522	134.1%	87.1%
5 竹田市	7,915	32.6%	2.4%	14 臼杵市	352	98.9%	58.6%
6 日出町	7,314	-27.4%	-42.9%	15 津久見市	315	79.0%	40.6%
7 九重町	7,207	25.5%	-6.1%	16 豊後高田市	270	-11.8%	-30.8%
8 中津市	5,798	4.6%	-23.3%	17 姫島村	-	-	-
9 佐伯市	2,681	132.9%	86.2%	18 玖珠町	-	-	-

考察

【大分県の宿泊動向】

・2022年10月の宿泊者数は、全国を対象とした旅行支援が開始したことなどから前年比23%増加したものの、ラグビーW杯が開催されたコロナ禍前の2019年比は-17%にとどまった。

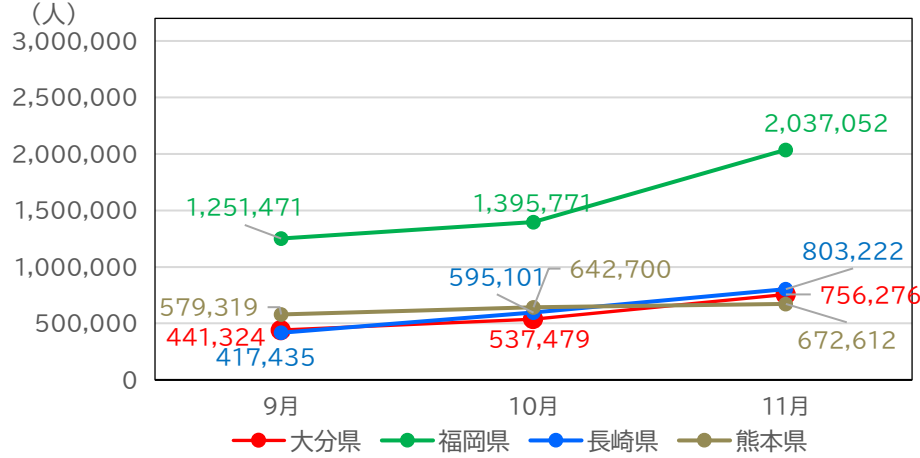
・大分県宿泊者の居住地は、福岡県在住者が22%と引き続き多くを占めているものの、全国旅行支援などの影響もあり九州外の関西・関東方面からの宿泊が多くなっている。

※2022年10月以降の数値は現在の予約状況及び過去の動向を踏まえた推計値です。予約数の増減に応じて随時値は変化します。
また、2022年の実績値についてはキャンセル値を随時反映しているため、数値が変化する可能性があります。

比較対象都市との比較（9月～11月の宿泊動向）

■宿泊者数の推移の比較

[2022年9月～11月の宿泊動向（隣県比較）]



【各県前年比（10月）】

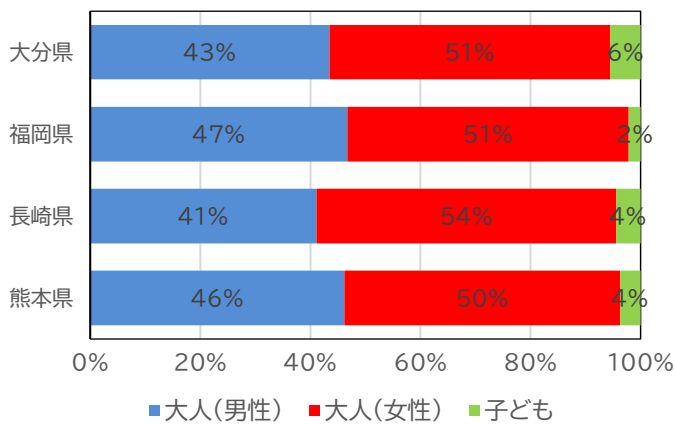
大分県： 23% 増
福岡県： 42% 増
長崎県： 24% 増
熊本県： 34% 増

【各県2019年比（10月）】

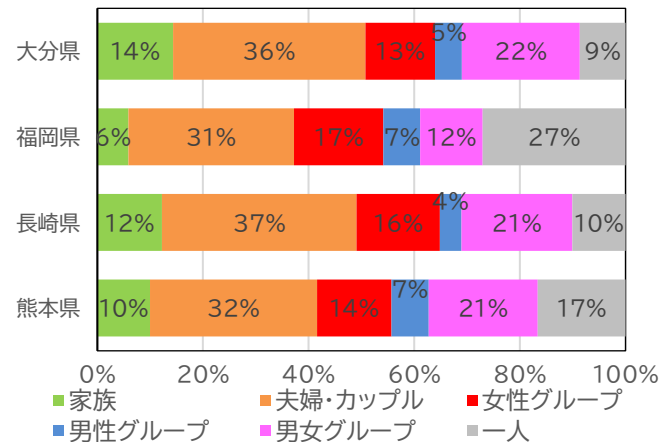
大分県： -17% 減
福岡県： -1% 減
長崎県： -6% 減
熊本県： -3% 減

■宿泊者属性の動向比較

[大人・小人の別（10月計）]



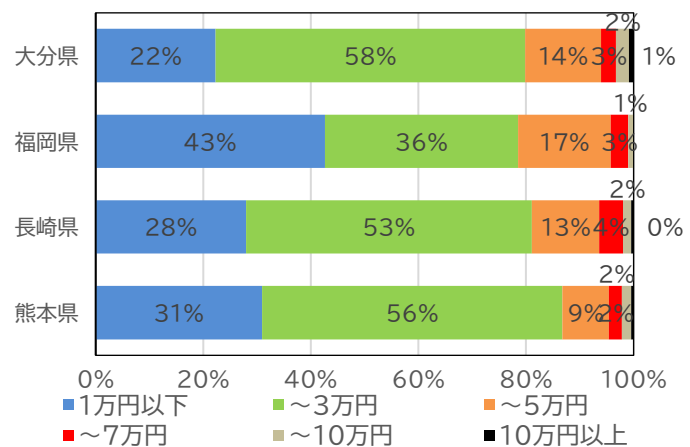
[同伴形態の別（10月計）]



[各県宿泊者の居住地ランキング（10月）]

		大分県		福岡県		
1位	福岡県	118,423	22%	東京都	182,510	14%
2位	東京都	49,462	9%	大阪府	107,788	8%
3位	大分県	43,991	8%	神奈川県	107,333	8%
4位	大阪府	32,279	6%	福岡県	95,049	7%
5位	神奈川県	27,516	5%	広島県	78,925	6%
		長崎県		熊本県		
1位	福岡県	101,265	16%	福岡県	109,979	17%
2位	東京都	64,919	14%	東京都	62,134	10%
3位	神奈川県	42,172	8%	熊本県	50,570	8%
4位	大阪府	40,948	8%	大阪府	46,197	7%
5位	長崎県	32,885	7%	神奈川県	42,181	7%

[一人あたり宿泊購入額（10月）]



考察

【比較対象都市の動向】

- ・比較対象都市の10月の宿泊者数の動向としては、各県とも前年比は増加したもののコロナ禍前の2019年比は減少となった。また、10月11日より全国旅行支援の予約受付が開始となったことなどから、11月に向けて増加傾向にある。
- ・宿泊者の属性をみると、大分県は特に子供を含む家族での宿泊が多い傾向にあり、宿泊単価も1万円以上の割合が他県に比べ高い傾向にある。
- ・各県宿泊者の居住地としては、福岡を除く大分・長崎・熊本はいずれも福岡県からの宿泊者一番多いが、全国旅行支援が開始となったことなどから各県ともに特に九州以外の都市部からの宿泊者が多くなっている。